

結 果 の 概 要

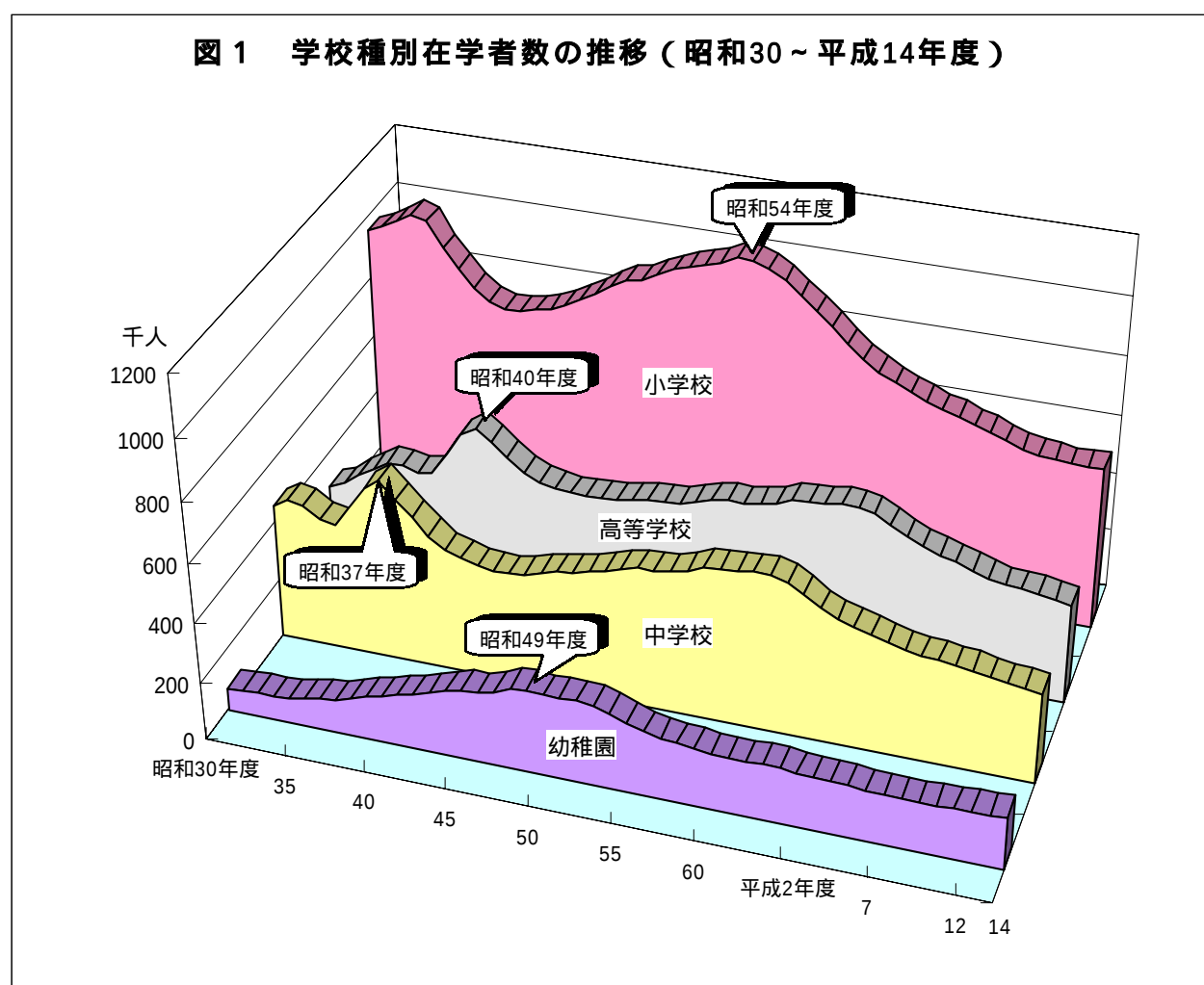
1. 学校（園）数、園児・児童・生徒数、教員数

学校数を前年度と比較すると、高等学校通信制課程、中等教育学校、盲学校、養護学校は前年度と同数となっており、そのほかの学校はすべて減少となった。

園児・児童・生徒数では、小学校、盲学校、養護学校、幼稚園、専修学校で増加し、そのほかの学校では減少している。

教員数では、中学校、高等学校、中等教育学校、聾学校、各種学校で減少し、小学校、盲学校、養護学校、幼稚園、専修学校では増加している。高等学校通信制は、前年度と同数である。

図 1 学校種別在学者数の推移（昭和30～平成14年度）



昭和30年度から小学校、中学校、高等学校、幼稚園について園児・児童・生徒数の推移をみると、小学校は、昭和54年度のピークを最後に平成12年度まで減少が続いていたが、前年度から2年続けて増加となった。

中学校は、昭和37年度のピークから昭和45年度まで減少し、その後昭和61年度まで増加傾向がみられたが、昭和62年度から再び本年度の調査まで減少している。

高等学校は、昭和40年度のピークから昭和47年度まで減少し、その後は増加傾向が続いたが、平成2年度からは再び本年度の調査まで減少が続いている。

結果の概要：概説

幼稚園は、昭和 49 年度をピークに減少傾向にあったが、平成 10 年度からは若干増加し、本年度は大幅な増加となった。(図 1・表 1)

表 1 学校(園)数、園児・児童・生徒数、教員数

(単位：校、園、人、%)

区 分	学 校 数				園 児 ・ 児 童 ・ 生 徒 数				教 員 数 (本 務 者)			
	平 成 14 年 度	平 成 13 年 度	対 前 年 度 増 減 数	対 前 年 度 増 減 率	平 成 14 年 度	平 成 13 年 度	対 前 年 度 増 減 数	対 前 年 度 増 減 率	平 成 14 年 度	平 成 13 年 度	対 前 年 度 増 減 数	対 前 年 度 増 減 率
総 数	4 571	4 616	45	1.0	1 644 083	1 657 703	13 620	0.8	92 180 (462)	92 059 (407)	121 (55)	0.1 (13.5)
小 学 校	1 411	1 429	18	1.3	560 912	558 286	2 626	0.5	28 964	28 738	226	0.8
中 学 校	839	843	4	0.5	305 622	312 565	6 943	2.2	18 265	18 327	62	0.3
高等学校	456	457	1	0.2	338 051	349 813	11 762	3.4	19 708	20 006	298	1.5
高等学校 通 信 制	10	10	-	-	24 689	25 516	827	3.2	317	317	-	-
中等教育 学 校	1	1	-	-	694	696	2	0.3	42	43	1	2.3
盲 学 校	5	5	-	-	450	448	2	0.4	277	271	6	2.2
聾 学 校	9	10	1	10.0	680	699	19	2.7	397	404	7	1.7
養護学校	55	55	-	-	7 185	6 955	230	3.3	3 999	3 905	94	2.4
幼 稚 園	1 128	1 150	22	1.9	175 600	171 000	4 600	2.7	10 430 (462)	10 397 (407)	33 (55)	0.3 (13.5)
専修学校	465	460	5	1.1	196 126	195 409	717	0.4	8 226	8 038	188	2.3
各種学校	192	196	4	2.0	34 074	36 316	2 242	6.2	1 555	1 613	58	3.6

注 1) 高等学校及び中等教育学校の在学者数は、本科の生徒数であり、専攻科及び別科の生徒数を含まない。
2) 幼稚園教員数の()内数値は、教育補助員で外数である。
3) 高等専門学校・短期大学・大学については、文部科学省が直接調査しているため、除外してある。

2. 卒業後の状況

中学校の卒業生総数は、105,850 人で前年度より減少し、高等学校等進学率は前年度から 0.2 ポイント低下の 97.0%となった。進学率を男女別にみると女子は 0.2 ポイント低下の 97.4%となり、男子も平成 9 年度以降上昇を続けていたが、本年度は 0.2 ポイント低下の 96.7%となっている。

(図 2-1)

就職率は平成 13 年度から引き続き 0.7%で過去最低となっている。(図 2-3)

高等学校の卒業生総数は、112,759 人、進学者数は 59,101 人で前年度よりそれぞれ減少し、大学等進学率は 52.4%となった。進学率の推移をみると、平成 4 年度は 16.2 ポイントの男女差があるが、以降特に男子の上昇が著しく本年度は 8.2 ポイントまで縮まっている。

専修学校(専門課程)への進学率は前年度より 0.2 ポイント低下し 15.4%となっている。(図 2-2)

就職率は 7.1%で前年度より 0.4 ポイントの低下となり、過去最低となっている。

(図 2-3、統計表 9-1,10-1)

図 2 - 1 中学校の卒業生数、進学率の推移

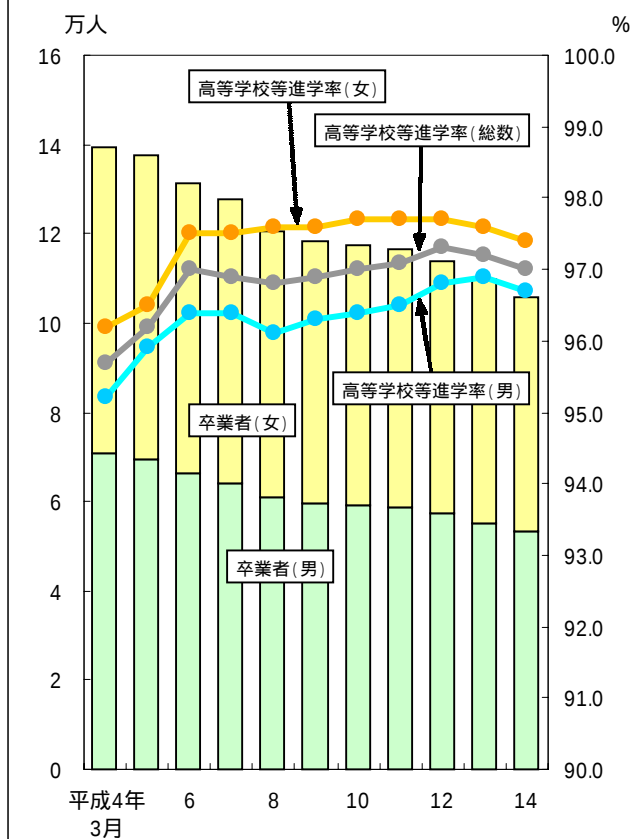


図 2 - 2 高等学校の卒業生数、進学率の推移

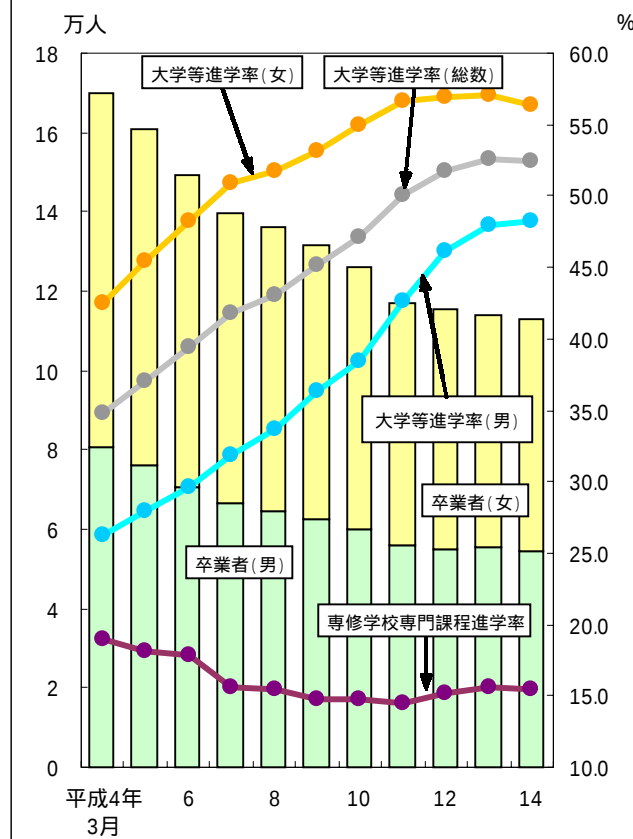


図 2 - 3 就職率の推移

